

令和3年9月28日

文部科学大臣
萩生田光一様

一般社団法人日本私立大学連盟
会長 田中愛治

私費外国人留学生等に対する入国制限緩和の要望

昨年来の新型コロナウイルスの影響により、学位取得を目的とした私費外国人留学生が、日本に入国できない状況が長期化しています。私立大学におきましては、世界各国の外国人留学生より、早く来日して日本で学びたいとの声が日増しに切実なものとなっており、これまでオンラインを活用した科目提供はもとより、様々な交流の場を設けるなど可能な限り対応してきています。しかしながら、一度も日本での実体験がないままで学びの楽しみや日本の文化等を感じ取ることは難しく、学生間の人間関係を構築することが出来づらいうちで、思い描いていた留学生活との乖離から、日本への留学に見切りをつけ、他国への転学等を考えざるを得ない深刻な状況となっています。

現在、新型コロナウイルスの感染者数や死亡者数が欧米と比較すると抑えられており、安全性の観点で日本への留学意欲が高まっています。入国制限のさらなる継続はこうした機運を削ぎ、既に入学している学生の転学や今後の志望者の減少による大学、および我が国へのダメージは極めて大きいものがあります。とりわけ、日本の留学生の多くが私立大学の私費留学生であり、日本の大学を選んだ貴重な私費外国人留学生達へ門戸を開く可能性があるこの時機を逸することなく、大学のグローバル化を推進しなければなりません。

このような状況を踏まえ、下記の通り、私費留学生及び交換留学生に対する入国緩和の特例措置を講じていただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

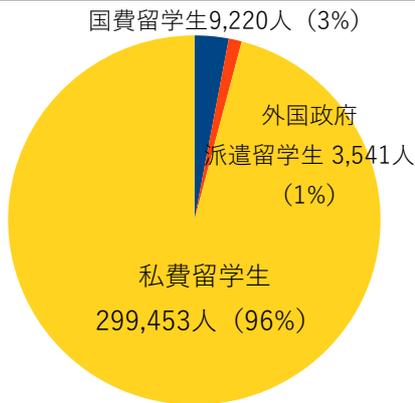
記

1. 私立大学の留学生の多くは私費留学生である。すでに入国が可能になっている国費留学生だけでなく、私費留学生の入国制限の緩和をお願いしたい。
2. 大学間の協定などに基づく交換留学生の受入れは派遣と対になっており、国内大学の国際教育活動において必要な役割を果たすものである。不要不急の短期の渡航と区別して、中長期にわたる交換留学生の受入れを可能としていただきたい。

以上

●留学生数（私費・国費）（2019年5月1日現在）

留学生（受け入れ）のうち、国費留学生の割合は3%（9,220人）、私費留学生の割合は96%（299,453人）であり、私立大学の留学生のほとんどが私費留学生である。



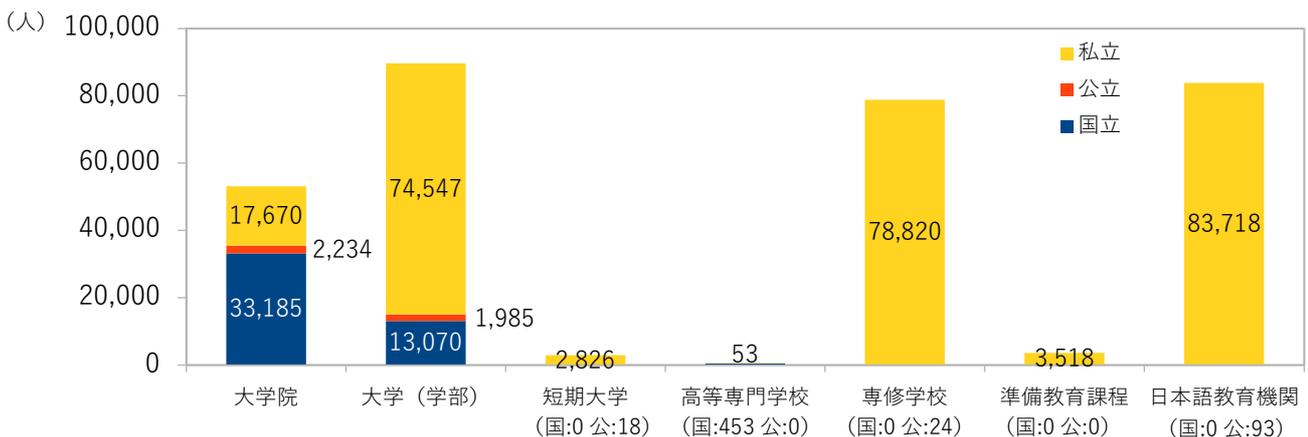
【留学生受け入れ数の多い大学】

種類	大学名	人数
〔私立〕	早稲田大学	5,724人
	立命館アジア太平洋大学	2,759人
	立命館大学	2,673人
	慶應義塾大学	2,103人
	上智大学	1,555人
〔国立〕	東京大学	4,178人
	京都大学	2,631人

出典：2019（令和元）年度外国人留学生在籍状況調査結果（独立行政法人日本学生支援機構、2020年4月）

●在学段階別・国公立別留学生数（2019年5月1日現在）

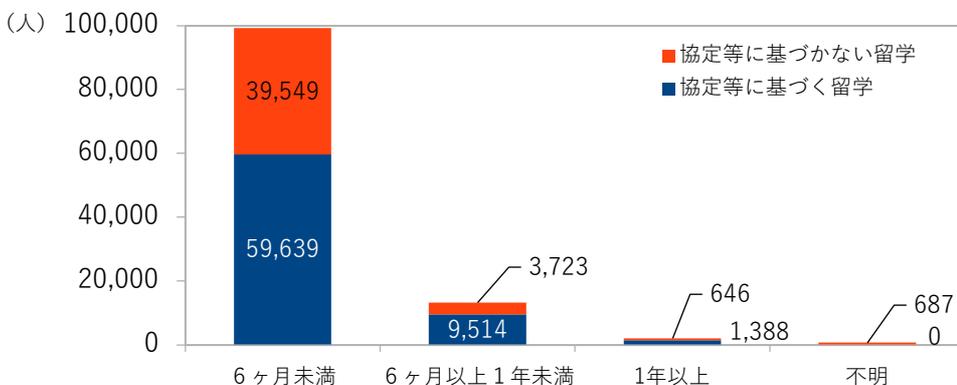
留学生（受け入れ）の全体は83.6%（261,152人）、大学（学部）段階では83.2%（74,547人）の学生が私立大学で学んでおり、教育の中心をなしている。



出典：2019（令和元）年度外国人留学生在籍状況調査結果（独立行政法人日本学生支援機構、2020年4月）

●留学（派遣）状況（2018年度中）

コロナ禍前には、10万人を超える学生の留学（派遣）を私立大学が支えてきた。



【派遣留学生数の多い大学】

種類	大学名	人数
〔私立〕	早稲田大学	3,033人
	東洋大学	2,223人
	立命館大学	2,205人
	関西学院大学	2,017人
	明治大学	1,884人
〔国立〕	京都大学	2,312人
	東北大学	1,895人

出典：2018（平成30）年度日本人学生留学状況調査結果（独立行政法人日本学生支援機構、2020年4月）

【参考】私大連調査：私大連加盟校（125大学）の 受入留学生数 43,546人（2019年5月1日現在）
派遣留学生数 44,853人（2018年度中）